

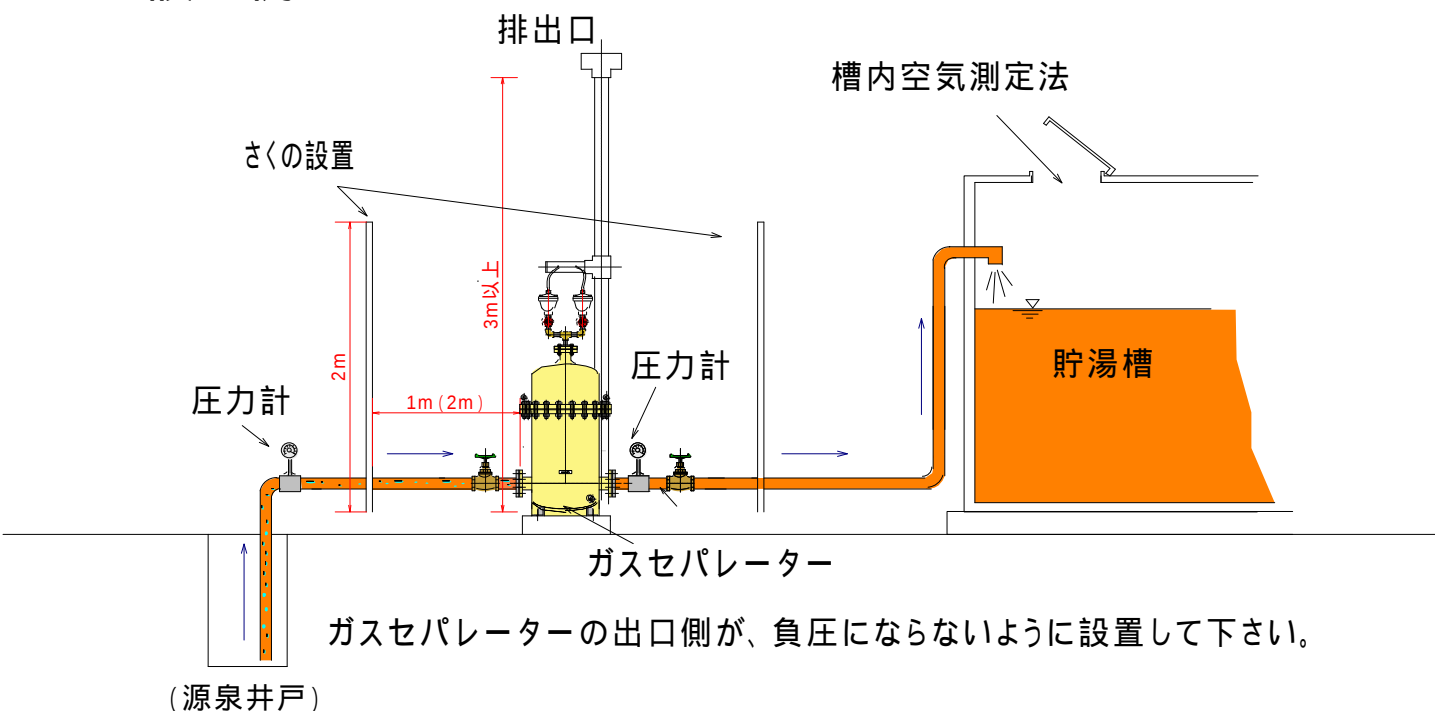
KHKシルマー 耐蝕タイプ

KHKシルマー T型NF FRP

温泉・井水用 ガスセパレーター (小型・軽量)

温泉・井水のガス脱気に大きな効果を発揮します。

設置例



物理的に気泡(ガス)を分離除去するので無公害・ランニングコストかかりません。
メンテナンスは自動エア抜弁の定期的点検と本体内部の清掃のみですから維持や管理が容易です。
小型・軽量のため、施工性が良く設置スペースを取りません。

本製品は流水中の気泡化したガスを分離排気するもので、マイクロバブルガスや白濁化した極微な浮遊気泡の分離排気に対応するものではありません。

耐 圧	:	0.7MPa ~ 1.0MPa
耐 熱	:	70
材 質	:	ビニルエステル樹脂 (FRP)
接続フランジ	:	10K FRPフランジ

ガスセパレーター寸法表

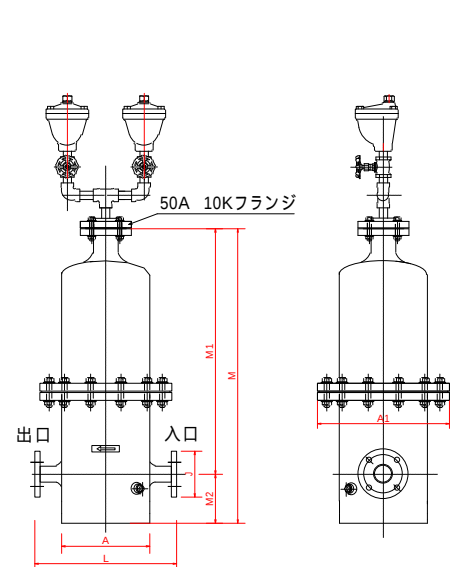
	TC-40NF-T3	TM-50NF-T3	TE-65NF-T3
接続口径	40 A	50 A	65 A
A	267	267	267
A1	400	400	400
L	430	430	430
J	140	155	175
M	900	900	900
M1	750	750	750
M2	150	150	150
重量 kg	23	23	23

重量には付属品は含まれておりません。

接続口径は現場配管サイズに合わせて変更できます。

耐圧： 1 Mpa 以下

耐熱： 70 以下



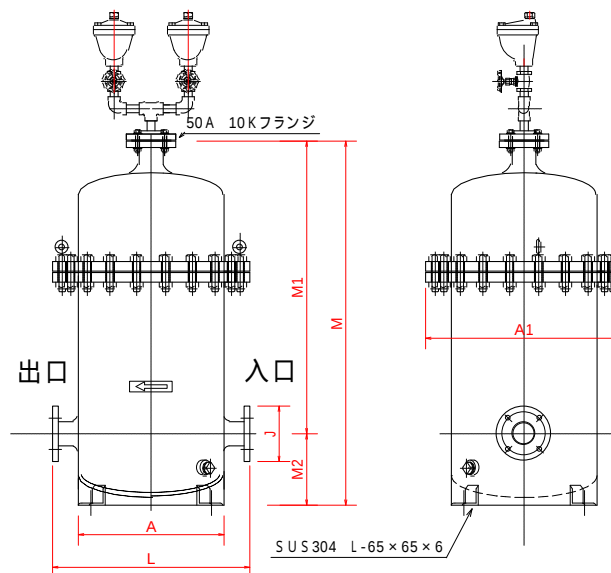
	TX-150N-40NF	TX-150N-50NF	TX-150N-65NF
接続口径	40 A	50 A	65 A
A	457	457	457
A1	620	620	620
L	620	620	620
J	140	155	175
M	1150	1150	1150
M1	925	925	925
M2	225	225	225
重量 kg	70	70	70

重量には付属品は含まれておりません。

接続口径は現場配管サイズに合わせて変更できます。

耐圧： 0.7 Mpa 以下

耐熱： 70 以下



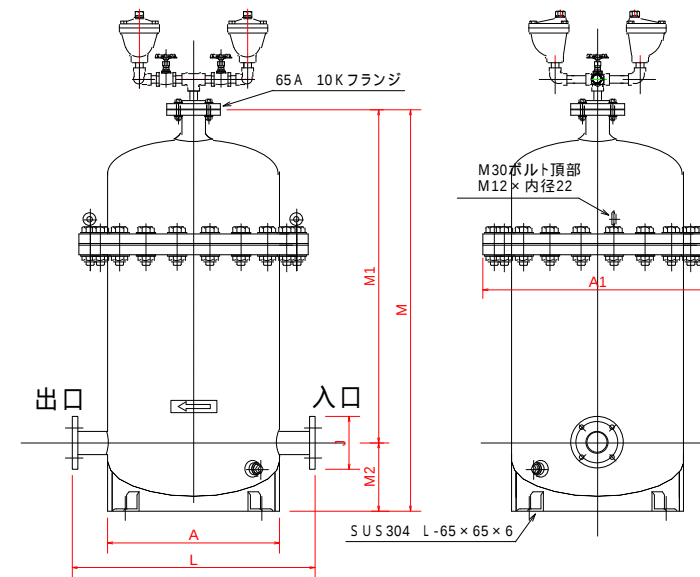
	TY-200N-40NF	TY-200N-50NF	TY-200N-65NF
接続口径	40 A	50 A	65 A
A	559	559	559
A1	745	745	745
L	790	790	790
J	140	155	175
M	1323	1323	1323
M1	1098	1098	1098
M2	225	225	225
重量 kg	95	95	95

重量には付属品は含まれておりません。

接続口径は現場配管サイズに合わせて変更できます。

耐圧： 0.7 Mpa 以下

耐熱： 70 以下





ご使用上の重要な注意事項

- ・本製品は流水中の気泡化したガスを分離排気するもので、マイクロバブルガスや白濁化した極微細な浮遊気泡の分離排気に対応するものではありません。
- ・自動排気弁が正常に作動しているかどうか定期的に確認してください。作動に異常が確認された場合、速やかにメンテナンスをするか新しいものに交換してください。自動排気弁が正常に作動しないと気泡ガスが本製品を通過して流出します。
- ・本製品は使用圧力以内で使用してください。使用圧力以上の圧力で使用した場合はクラックや破損の原因になります。電磁弁などの急速作動によりウォーターハンマーが起こることがありますので注意してください。
- ・自動排気弁から排気されたガスは排気管により安全な場所に排気させてください。排気管には、水抜きを設けるなどして、ガスの通過が阻害されないようにし、また、排気管に水が溜まっていないかどうか定期的に確認してください。
- ・過流量・過流速・ガス量が多い場合には本製品の性能を十分に発揮できないことがありますので、対応機種を選定に誤りがないよう注意してください。
- ・硬度の高い水質で 사용되는場合はガスセパレーター内部やガス排気弁にスケールが固着して性能低下を起こしますので、現場の状況に合わせて定期的に清掃してください。
- ・本製品の設置には、保守点検のため極力バイパスをとって下さい。また、バイパスが取れない場合は入口側及び出口側に必ずバルブを設置してください。
- ・本製品は通水方向をご確認の上、必ず水平に設置して下さい。
- ・通水時には、自動排気弁のバルブが常時開いていることを確認して下さい。
- ・本製品を屋外で使用する場合は、直射日光の熱の影響や風雨による劣化を防ぐため屋根や壁を極力設置して下さい。その際は温泉法に基づく屋内設置とらないよう注意してください。(温泉法ではガスセパレーターの設置は原則として屋外設置となっています。詳しくは温泉法をご確認ください。)
- ・本製品をハンマー等でたたいたり、落下の衝撃を与えないでください。

気水分離器KHKシルマー 点検・保守管理 事項

No	部 位	点検・保守 方法
1	可燃性天然ガス発生設備の目視検査 本体・外観の確認 屋外 1ヶ月1回以上 屋内 1日1回以上	本体・接続部 外観に腐食による割れやピンホールがなく漏水による汚れや付着物がない事を確認する 水漏れや腐食が発見された場合は、新しい物と交換する
2	天然ガスの漏出チェック 接続部の確認 屋外 1ヶ月1回以上 屋内 1日1回以上	上部フランジ・ガス排気弁・ニップル・プラグ・フランジの接続部分からの可燃性天然ガスの漏出をチェックし 腐食や水漏れがない事を確認する 腐食や水漏れが発見された場合は、新しい物と交換する
3	ガス排気弁の点検・洗浄 毎日/点検 (ガス排気弁の作動確認) 隔月/洗浄	ガス排気弁を取り外し、分解して内部を洗浄する 内部の部品等が破損していたり、腐食している場合は新しい物と交換する エア抜き弁のノズルから水が吹き出した場合は、直ちにエア抜き弁を洗浄する 自動エア抜き弁の詳しい点検・洗浄方法は別添参照
4	バルブの確認 1ヶ月1回以上	バルブの開閉の動作確認をし、流路に詰まりがないかを確認する バルブの洗浄は、水洗いするか加圧流水を吹きこむ 等して流路に溜まった水垢やゴミ等を取り除く 稼動時は、常にバルブは開になっていることを確認する
5	本体内部の清掃 年/1回以上 (清掃回数は水質により増加)	上部フランジ及びブロー用ソケットより内部に溜まっている沈殿物・スケールを排出する (錆の粒子・シリカ成分等) 付属品(エア抜き弁・バルブ等)を取り外した状態でソケットより加圧流水を吹き込み本体内部を洗浄する
6	架台及びつり金具の確認 年/1回以上	本体を固定している架台や吊金具のボルト等に緩みや破損がないかを確認する 点検の際は必ずボルト等の接続部品の増締めをする